

2025年3月13日

国内初の電動カートらが国立科学博物館のデータベースに登録

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉田誠人)が前身の新神戸電機株式会社・神戸電機株式会社時代に開発した**日本初の電動ゴルフカートと、電気自動車の2製品が国内の産業技術の歴史と意義を伝える国立科学博物館の産業技術史資料データベースに登録されました。**

産業技術史資料データベース URL (<https://sts.kahaku.go.jp/sts/index.php>)



国内初の電動ゴルフカート「ミス・キャディ」
1974年製造



電気自動車「暁(あかつき)号」
1939年製造

国内初の電動ゴルフカート「ミス・キャディ」は、ゴルフ場のキャディ不足による合理化のため、当時は手押しカートが主流のなか発売した乗用カート(2人乗り4バグ積み)。アクセルを踏むだけで簡単に操作でき、上り坂や傾斜地の走行にも優れているため、ゴルフ場の省力化に貢献しました。

当グループではエナジーシステムサービスジャパン株式会社(ESSJ、本社:東京都大田区、代表取締役社長:今井剛)がゴルフカート事業を引き継いでおり、**2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)**においては**5人乗り電動カート20台を救護者搬送・スタッフ移動用途のため無償貸与する形で運営に参加します。**

電気自動車「暁号」の生産には、日中戦争勃発以来、ガソリンの規制が強化されたことにより代替として電気自動車が奨励されていた背景がありました。旧・神戸電機株式会社の工場には蓄電池、電動機、電気車の各製造部門があったため、製造が実現しました。なお、1943年の会社分割に伴い、電気自動車の生産を終了しました。

エナジーウィズ株式会社は2021年12月、昭和電工マテリアルズ株式会社(現株式会社レゾナック)の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで100年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

エナジーウィズ株式会社

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3 AKSビル

pr@energy-with.com